



2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月14日

東

上場会社名 G-FACTORY株式会社

上場取引所

コード番号 3474

URL <https://g-fac.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片平 雅之

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 田口 由香子 (TEL) 03-5325-6868

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	1,583	1.5	△55	—	△102	—	△111	—
2024年12月期第1四半期	1,560	19.8	34	—	56	—	4	—

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 △97百万円(—%) 2024年12月期第1四半期 21百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	△17.18	—
2024年12月期第1四半期	0.73	0.73

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、2025年12月期第1四半期は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第1四半期	4,253	1,375	30.1
2024年12月期	4,365	1,463	31.5

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 1,278百万円 2024年12月期 1,374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年12月期	—				
2025年12月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	6,560	3.3	34	—	32	86.2	△58	△9.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年12月期 1 Q	6,816,500株	2024年12月期	6,816,500株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	300,000株	2024年12月期	300,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年12月期 1 Q	6,516,500株	2024年12月期 1 Q	6,483,516株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動の正常化が進み、人手不足や物価高を背景に、人材確保の必要性が強く意識されたことや、賃金上昇圧力の高まりにより、雇用や所得環境が改善しました。これに加え、インバウンド消費の拡大等により、緩やかな回復基調を示しました。一方で、世界的な金融引き締めや継続的な円安、物価上昇などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主力取引先である飲食業界におきましては、需要の回復傾向がみられる一方で、消費者の節約志向が根強く、業態ごとの集客力や価格戦略が業績を左右する状況が続いております。さらに、原材料の価格が不安定な推移を続けていることに加え、人手不足による人件費の上昇等から、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

そのような状況下、当社グループは、国内の飲食店をはじめとするサービス業の成長をサポートすることを第一に、「夢をカタチに！和食を世界に！」という企業スローガンを掲げ、日本国内の和食文化を世界の様々な地域へ輸出する架け橋となれるよう努めてまいりました。また、経営サポート事業と飲食事業の連動によって、当社独自の「プラットフォーム」を形成し、両事業を併せ持つことによるシナジー効果で収益を創出するビジネスモデルを確立し、飲食事業で培ったノウハウや課題解決力を活かし、時代と共に変化する飲食店経営のニーズに対応した新サービスの提供を推進してまいりました。さらに、中期展望の実現に向けて、国内及び海外の管理体制強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,583,823千円（前年同四半期比1.5%増）、営業損失は55,045千円（前年同四半期は営業利益34,944千円）、経常損失は102,526千円（前年同四半期は経常利益は56,617千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は111,951千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益4,730千円）となりました。

なお、為替相場の変動による為替差損48,713千円を営業外費用に計上しております。これは主に、当社から当社連結子会社であるGF CAPITAL PTE. LTD. への貸付金の為替換算レートによる評価替えにより生じたものであります。

セグメントごとの経営成績の状況は、次のとおりであります。

① 経営サポート事業

当第1四半期連結累計期間において、出退店サポートにおける新規案件の獲得が継続しており、取扱物件数の増加によりストック型の収益が増加しております。一方で、出退店サポートおよび外国人材紹介サポートにおいて、前年同期間に比べて案件獲得件数が減少したことにより、フロー型の収益は減少しております。

また、外国人材紹介サービスについては、対象となる外国人材、特定技能分野、支援対象国の拡大に取り組んでおり、当社にとって新たな成長領域として積極的な投資を行っております。これに伴い、体制整備に伴う人件費や、システム開発・運用にかかる費用等が増加しております。

その結果、当セグメントの売上高は728,695千円（前年同四半期比2.5%減）、営業利益は90,317千円（前年同四半期比38.5%減）となりました。

② 飲食事業

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが展開する「名代 宇奈とと」の国内店舗では、継続するインバウンド需要の獲得や、新規出店による店舗数の増加、さらに原材料価格の高騰に対応した販売価格の改定により、売上高が増加いたしました。また、海外店舗においても、客数増加を目的とした各種施策が奏功し、売上高が増加しております。一方で、レストラン業態においては、不採算店舗の休業措置を講じたことにより売上高は減少したものの、コスト削減効果により収益性は改善いたしました。

その結果、当セグメントの売上高は、855,127千円（前年同四半期比5.2%増）、営業利益は19,333千円（前年同四半期比57.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第1四半期連結会計期間の資産は前連結会計年度末より112,088千円減少して4,253,250千円となりました。これは主に、流動資産その他が34,610千円、有形固定資産その他が44,381千円、差入保証金が29,261千円増加した一方で、現金及び預金が159,541千円、売掛金が14,449千円、建物及び構築物が30,466千円減少したことによるものであります。

② 負債の部

当第1四半期連結会計期間の負債は前連結会計年度末より23,923千円減少して2,877,637千円となりました。これは主に、長期預り保証金が45,813千円、賞与引当金が28,073千円増加した一方で、買掛金が26,505千円、未払法人税等が20,047千円、流動負債その他が12,498千円、長期借入金が58,334千円減少したことによるものであります。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間の純資産は前連結会計年度末より88,164千円減少して1,375,613千円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が15,812千円、新株予約権が8,922千円増加した一方で、利益剰余金が111,951千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年2月14日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,454,488	1,294,947
売掛金	206,562	192,113
リース投資資産	39,836	31,150
商品	73,059	55,050
その他	308,089	342,700
貸倒引当金	△115	—
流動資産合計	2,081,921	1,915,961
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	660,817	630,351
その他（純額）	48,857	93,238
有形固定資産合計	709,675	723,590
無形固定資産		
その他	18,940	19,900
無形固定資産合計	18,940	19,900
投資その他の資産		
差入保証金	1,219,217	1,248,478
その他	337,552	347,287
貸倒引当金	△1,967	△1,967
投資その他の資産合計	1,554,802	1,593,798
固定資産合計	2,283,417	2,337,289
資産合計	4,365,339	4,253,250

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	168,055	141,549
1年内返済予定の長期借入金	156,972	172,479
未払法人税等	22,664	2,617
賞与引当金	—	28,073
その他	760,054	747,555
流動負債合計	1,107,745	1,092,274
固定負債		
長期借入金	780,741	722,407
長期預り保証金	904,961	950,774
その他	108,113	112,181
固定負債合計	1,793,815	1,785,363
負債合計	2,901,560	2,877,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	53,460	53,460
資本剰余金	633,283	633,283
利益剰余金	772,206	660,255
自己株式	△243,933	△243,933
株主資本合計	1,215,016	1,103,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	629	676
為替換算調整勘定	159,304	175,116
その他の包括利益累計額合計	159,934	175,793
新株予約権	71,557	80,480
非支配株主持分	17,269	16,274
純資産合計	1,463,778	1,375,613
負債純資産合計	4,365,339	4,253,250

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	1,560,245	1,583,823
売上原価	797,025	829,859
売上総利益	763,220	753,964
販売費及び一般管理費	728,275	809,010
営業利益又は営業損失(△)	34,944	△55,045
営業外収益		
受取利息	39	581
為替差益	21,076	—
助成金収入	661	682
その他	2,055	1,591
営業外収益合計	23,832	2,856
営業外費用		
支払利息	1,869	1,623
為替差損	—	48,713
その他	290	0
営業外費用合計	2,159	50,337
経常利益又は経常損失(△)	56,617	△102,526
特別利益		
固定資産売却益	—	1,000
違約金収入	888	4,324
受取和解金	733	28,634
特別利益合計	1,621	33,958
特別損失		
固定資産除売却損	1,172	49
訴訟関連損失	—	6,928
和解金	—	30,405
店舗閉鎖損失	—	12,717
特別損失合計	1,172	50,101
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	57,065	△118,669
法人税、住民税及び事業税	60,113	3,040
法人税等調整額	△7,805	△9,505
法人税等合計	52,307	△6,465
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,758	△112,203
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	27	△252
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	4,730	△111,951

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	4,758	△112,203
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	479	46
為替換算調整勘定	16,355	15,069
その他の包括利益合計	16,835	15,116
四半期包括利益	21,593	△97,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,471	△96,092
非支配株主に係る四半期包括利益	122	△995

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	経営サポート 事業	飲食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	747,698	812,547	1,560,245	—	1,560,245
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	747,698	812,547	1,560,245	—	1,560,245
セグメント利益	146,935	12,302	159,237	△124,293	34,944

(注) 1. セグメント利益の調整額△124,293千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	経営サポート 事業	飲食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	728,695	855,127	1,583,823	—	1,583,823
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	728,695	855,127	1,583,823	—	1,583,823
セグメント利益又は損失(△)	90,317	19,333	109,651	△164,697	△55,045

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△164,697千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	86,427千円	41,484千円
のれんの償却額	13,520千円	—千円